

令和 7 年 1 月 20 日

上越市長 中川 幹太 様

高田区地域協議会
会長 澁市 徹

LED 防犯灯の設置・交換に係る費用の公費負担を求めることについて(意見書)

町内会が管理する防犯灯は、地域住民の安全を守るために必要な公共施設です。

平成 27 年度に始まった上越市の防犯灯 LED 化推進補助制度を活用して LED 化された防犯灯が交換時期を迎える中で、当地域協議会は、交換費用が町内会の財政を圧迫するという地域の声を受けて、費用負担の在り方について検討してきました。

平成 27 年度から令和 4 年度までの 8 年間に、市内の町内会が管理する防犯灯の LED 化率は 9%から 90%に上昇し、市が負担する防犯灯の電気料金は大幅に削減され、環境負荷の軽減が進みました。しかし、この間に、市の補助金が 1.1 億円(補助割合は 1/3 で、上限額は 1 万円)に対し、町内会の負担総額は 2.2 億円以上の高額となりました。LED 防犯灯の耐用年数とされる 10 年が順次経過する中で、補助制度は既に廃止されており、LED 防犯灯の交換費用は全額を町内会が負担することになっています。

このような状況から、この度「LED 防犯灯の設置・交換に係る費用の公費負担を求めることについて」の意見を取りまとめましたので、下記のとおり提案します。

記

高田区には、令和 5 年度末現在、防犯灯 LED 化促進補助事業で整備された町内会が管理する LED 防犯灯が 2,254 灯(全市の約 10%)あり、これらと以外の少数の既存の LED 灯の交換費用は、総額で 7,000 万円余りを見積もられます。世帯数の減少とともに会費収入が減少している町内会にとって、既に全市の町内会が負担した 2.2 億円の LED 化費用に加え、この額は非常に大きな負担です。

防犯灯は地域住民の安全を守る重要な公共施設です。そのような施設である防犯灯の設置・交換費用の全額を町内会に求めることは不合理であると考えます。

公共施設である防犯灯の設置・交換費用について、長野市では 10 分の 10(上限額 2.5 万円)を負担し、県内では長岡市が費用の 5 分の 3(上限額は工事の内容により 2.5～5.6 万円)を負担するほか、費用の一部を町内会に補助する市があります。

このような状況から、当市においても、LED 防犯灯の設置・交換費用の全部または大半を、市が補助することを求めます。